

製品名: IRF8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02172**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	IRF8
別名	ICSBP; IRF-8; ICSBP1; IMD32A; IMD32B; H-ICSBP
遺伝子 ID	3394
SwissProt ID	Q02556
免疫原	ヒト IRF8 の組み換えタンパク質

背景

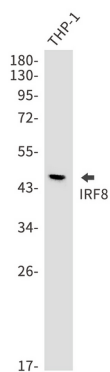
転写活性化因子または転写抑制因子として機能します (PubMed:25122610)。I型インターフェロン (IFN) および IFN 誘導性 MHC

クラス I 遺伝子上流調節領域（インターフェロンコンセンサス配列（ICS））に特異的に結合します。免疫系細胞において負の調節的役割を果たします。免疫細胞において BATF-JUNB ヘテロダイマーと複合体を形成し、CD8+樹状細胞の分化に関与します。免疫特異的調節エレメントである AICE 配列（5'-TGAnTCA/GAAA-3'）の認識につながり、続いて BATF と IRF8 が協調的に結合して遺伝子を活性化します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



IRF8 抗体を使用した THP-1 溶解物中の IRF8 のウエスタン ブロット分析。